

第303回

日文研フォーラム

講師◎アンダソヴァ マラル

カザフ国立女子教育大学言語学部(カザフスタン) 研究員/日文研外国人研究員

変容するヤマト——『古事記』の「天皇」を考える

コメンテーター◎金沢 英之
北海道大学 准教授

司会◎佐野 真由子
日文研 准教授

2016年9月13日(火) 十四時〜十六時(開場十三時四〇分)

ハートピア京都3階大会議室

入場無料

先着一八〇名申込み不要

主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構 国際日本文化研究センター

International Research Center for Japanese Studies

The 303rd Nichibunken Forum



日文研フォーラム

変容するヤマト

『古事記』の「天皇」を考える

Metamorphosing Yamato:

Thinking on the "Emperor" in the Kojiki

古代、「ヤマト」とは何であったのか――

この問題は、*kyōka* *kyōka* なる学問分野の対象となり、少しずつ解き明かされてきました。

文学の分野では、テキストに即し、そこに描かれた「古代」を読み解くところが、この問いに答えることとなります。本講演では、

『古事記』における「古代」を考えます。

『古事記』がどのように「ヤマト」について語っているのか、そして、「天皇」をどのような存在として記述しているのか、『日本書紀』との比較からお話ししたいと思います。

講師 **アンダソヴァ マラル**

カザフ国立女子教育大学言語学部(カザフスタン) 研究員/
日文研 外国人研究員



2004年、カザフ国際関係及び外国語大学東洋言語学部卒業。2013年、佛教大学にて博士学位(文学)取得。現在はカザフ国立女子教育大学研究員。2016年4月より国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は日本古代文学。
主要著作に『古事記 変容する世界―構造論的分析批判』(ミネルヴァ書房、2014)、主な論文に「古事記における『シャーマニズム』―葦原中国と命名することについて」(『日本文学』64巻5号、2015)、「古事記のなかの出雲―ホームチワケのシャーマニックな体験から」(『現代思想 出雲』、青土社、2013)、「古事記神代における高天原の『変貌』」(『日本神話をひらく「古事記」編纂1300年に寄せて―第9回日本文学国際会議論文集』、フェリス女学院大学、2013)などがある。

コメンテーター **金沢 英之** 北海道大学 准教授



1991年、東京大学理学部卒業。1998年、東京大学総合文化研究科博士課程中退。1999年、東京大学にて博士号(学術)取得。東京大学助手、札幌大学准教授を経て2010年より現職。専門分野は日本上代文学、神話思想。
主要著書に『宣長と『三大考』』(笠間書院、2005)、『義経の冒険』(講談社、2012)、主な論文に『日本書紀』の「皇祖」をめぐって―巻二・巻三における叙述の基点(『美夫君志』90号、2015)、『古事記』の「天つ神御子」―「言依し」との関係を中心に(『万葉集研究』30集、塙書房、2009)、「オシホミミの位置―ウケヒによる出生をめぐって」(『国語と国文学』83巻-6号、2006)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
TEL: 075-335-2078
<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第304回 日文研フォーラム

2016年 10月4日(火) 14:00~16:00

講師：マッツ カールソン シドニー大学言語文化学部日文学科(オーストラリア) シニア講師/日文研 外来研究員

コメンテーター：細川 周平 日文研 教授